

吉備国際大学附属図書館

図書館だより

KIU Library News

Topic.....

先生が選んだイチ押し本ご紹介
令和2年度の「先生が選んだイチ押し本」
をご紹介します。

図書館からのお知らせ



先生が選んだイチ押し本のご紹介

先生がどんな本に出会い、感銘を受けたのか、ぜひ手に取って読んでみてください。

図書館にご提出いただいた順番に、ご紹介しております。



醸造学科

林 将也 先生

Recommend Book

科学者という仕事 -独創性はどのように生まれるか-

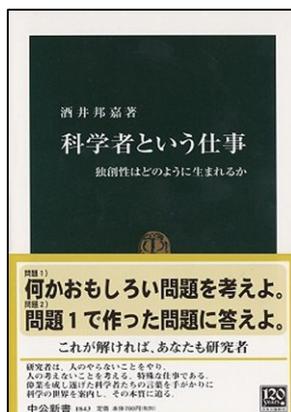
酒井邦嘉/著 中公新書 2号館図書館所蔵 (C-1843)

「科学者」を仕事として意識し始めてから心の拠り所を求めてみつけた納得の一冊です。『科学者にならないよ』という方にも有益なエッセンスが含まれています。

- ① 「一に模倣、二に創造」
- ② 「価値感」「社会的責任」「使命」

①：勉学も、仕事も、趣味やお稽古も、先人たちが苦心してつくった「型」をまず受け入れ、次に自分用にフィットさせて応用します。「温故知新」のように、まったく新しい展開を生み出す人もいます。

②：大げさな表現ですが、『世界の一員としての「自分」は、一体何者か』を考えるきっかけにさせていただければ嬉しいです。



※掲載の書影は出版社より許諾を受けたもののみ使用しております。転載・転用等のご遠慮ください。



経営社会学科
大西 正泰 先生

Recommend Book

最後の秘境 東京藝大 天才たちのカオスな日常

二宮敦人/原作 土岐篤子/漫画 新潮社 2号館図書館所蔵 (377.28/Ni)

東京・上野にある東京藝大に住まう人々のお話です。

みなさんと同じ大学生なのですが、個性豊かな学生たちが登場してきます。すべて、実在する学生のお話です。鉛筆の芯を削って粉にし、それを顔に塗り付け、答案用紙に顔を押し付けて「自画像」として提出するもの（入試の話）。悪の組織と戦っているブラジャーウーマン。ぜひ検索してほしい。やっぱり大学ってそういう「変な人」に出会える場所であってほしいし、変なことを堂々とできる「謎の空間」であってほしいなど思っています。



本と、漫画（全3巻）があります。ぜひご一読を。

モラルの起源 -実験社会科学からの問い-

亀田達也/著 岩波新書 2号館図書館所蔵 (I-1654)

とてもわかりやすい、読みやすい本で、心理や社会に興味ある人におすすめです！

そもそも、なぜ仲良く生きなくてはいけないのか。なぜ私たちは、平和で安定した社会を作ろうとするのか。そんな問いかけをもとに作られている本なのですが、タイトルがしっかりしているので、難しい本かと思えば、とても読みやすい本で、問いかけ→心理系の実験→いえることという構成で、いくつもの問い、疑問に答えていく流れなので、わかりやすいです。通勤時間の合間にでも読んでみてください。

これを読んだ後に、「面白くて眠れなくなる植物学」などを書いている稲垣栄洋先生の本を読むと、人も植物もすごい面白い仕組なのがたまらないです。





経営社会科学の大西正泰先生は、下記の6冊もオススメしてくれました！



『河合雅司の未来透視図』

『目前に迫るクライシス2040』

河合雅司/著 ビジネス社 2号館図書館所蔵 (334.31/Ka)

これからの20年、30年後の未来を、統計に基づく未来予測で描いている河合先生の本でいちばんわかりやすい本です。

この本では、みなさんが40～50代のころの日本を考えていくうえで、びっくりするようなデータがたくさん出ています。

こういった未来予測がわかったうえで、どのように新しい世界線を描き出すか、そこにビジネスの種がたくさん埋まっています。

『新型インフルエンザパンデミックに日本はいかに立ち向かってきたか』

岡部信彦・和田耕治編 南山堂 2号館図書館所蔵 (498.6/Ok)

今回の新型コロナのまえに、成田空港、神戸などを襲った2009年のときのパンデミックの様子が生々しく語られている本です。

読めば読むほど、今回と同じ。特に、現場の混乱、メディアによる攻撃などなど、当時の責任者だった人々の声がよくまとまっている良書です。

特に、神戸の保健局長のページは、いろんな思いが詰まった文章でした。

『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』

大野正人/著 文響社 2号館図書館所蔵 (280/On)

ピカソが絵を見せたときに「意味がわからん」と言われた話。65歳まで失敗し続けたカーネルサンダース。嫉妬に駆られて陰口をたたいた手塚治虫などなど。

たくさんの失敗があふれている、コミカルな本です。15万部を超えるヒットです。

DATE / NO.

『全米ナンバーワンビジネススクールで教える起業家の思考と実践術』

山川恭弘/著 大前智里/ストーリー・構成 東洋経済新報社

2号館図書館所蔵 (335/Ya)

ボストン郊外にあるバブソンで学んだことは、挑戦って楽しいなあということでした。

物語仕立てに作られているこの本では、挑戦が好きになる考え方が紹介されています。

読みやすい本なので、休みの日にぜひ。

『シン・ニホン』

AIXデータ時代における日本の再生と人材育成』

安宅和人/著 ニューズピックス 2号館図書館所蔵 (332.107/At)

いま、もっとも注目されている安宅先生(慶応大)の、これから日本がどう進むべきかを提案している本。

とても話題になった本で、日本のトップランナーの考えを知っておくのはとても良いと思います。

『人新世の「資本論」』

斎藤幸平/著 集英社新書 2号館図書館所蔵 (S-A-1035)

この先、このまま真っすぐに私たちは経済を走らせ続けていいのか。世界中の経済学者が問いかけている問いです。

前半は、いまの問題の整理。後半は、もう一つの違った経済のあり方があるんじゃないかという内容です。

ちょっと難しいところもあったり、異論反論も出ていたりする本ですが、今の旬な問いなので、ぜひ。



心理学科

橋本 翠 先生

Recommend Book

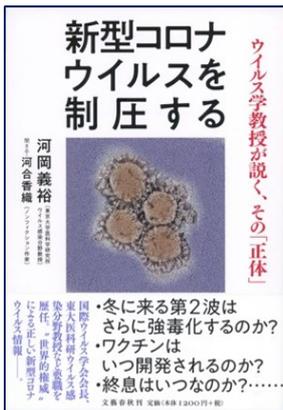
新型コロナウイルスを制圧する

河岡義裕/著 文藝春秋 2号館図書館所蔵 (493.87/Ka)

2020年、誰も想像しなかったような新型コロナウイルスに世界中が怯え、これまでに経験したことのない生活を余儀なくされました。

なぜ世界中の人がこの新型ウィルスCOVID-19に怯えるのでしょうか。そうです、「分からない」からです。何をしたらよいのか、どう気をつけたら良いのか……。人が最もストレス状態に陥るのは、「予測不可能」な状態であると、これまでの心理学の実験でも確かめられてきています。

そして今、私たちに何ができるのでしょうか。専門的な研究をし、新型コロナウイルスに立ち向かうには、ちょっとハードルが高過ぎます。今、私達にできること、それは「正しい知識を得る」ことです。この本は、ウィルス学をご専門に研究されてきた河岡先生がウィルスについて分かりやすく解説してくださっています。iPS細胞の研究者山中伸弥先生もお勧めの1冊です。ひたすら怯えるのではなく、正しい知識を得て必要以上に怖がらない安定した生活を送りましょう。この本はきっと役に立ちます。



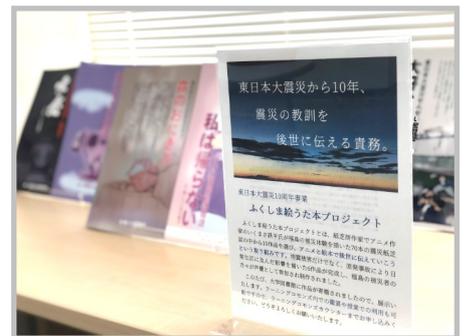
図書館からのお知らせ

図書館・ラーニングcommonsからのお知らせをご紹介します。

東日本大震災資料の寄贈及び展示について

東日本大震災10周年事業「ふくしま絵うた本プロジェクト」として制作されたアニメ・絵本作品が本学図書館に寄贈されました。福島での被災体験が描かれており、製作者は紙芝居作家でアニメ作家のいくまさ鉄平氏です。

2号館ラーニングcommons内に展示しております。**館内視聴・授業での利用も可能ですので、2号館ラーニングcommonsカウンターでお申込みください。**



—奥付— 図書館だより 2021年Special issue 2021.4.12発行 吉備国際大学附属図書館

図書館HP : <http://lib.jei.ac.jp/kiui/> 図書館カレンダーはHPにて公開中!

